

# 「准看護師研修会」

## 「褥瘡ケア/進学支援」

看護協会研修会館にて看護師職能 I 委員会主催の准看護師研修会が行われました  
参加者は 5 名でした。テーマは「明日から実践できる褥瘡ケア」でした。

講師は、社会医療法人 緑泉会米盛病院 皮膚・排泄ケア看護認定看護師の稲垣奈津美先生をお迎えしました。

研修会開始前に研修会の目的でもある進学支援の説明を実施。例年は鹿児島中央看護専門学校 2 年課程（通信制）看護科の先生をお呼びして、学校概要や具体的なカリキュラム等の説明を実施していました。しかし、令和 2 年をもって受付を終了されたため鹿児島近隣にある、看護科通信課程を有する看護大学の資料を基にした説明を実施しました。

それぞれの通信課程の特徴や教育訓練給付制度や日本看護協会奨学金の案内、入学条件である就業経験が 10 年から 7 年が変わっていることや「コロナ禍にあり、外出の機会が減少している今、自由時間を看護技術・知識を高める機会としていきましょう」との話がありました。



講義は、講師紹介に引き続き参加者も自己紹介を行い、和気あいあいとした雰囲気での講義開始となった。内容は、実際に現場で実施されているケア情報や写真が多く非常に理解しやすい内容でした。少人数での研修会のため、参加者が持っている疑問や現在の看護ケアで困っていることなど、講義をすすめながらその都度参加者へ質問をされたり、質問を受けたりと実践に基づいた質疑応答となった。

午後からは、事例に対し DESIGN-R を使った、褥瘡評価と評価に沿ったケア方法の検討を全体で行いました。わからない部分に対しては個別で指導を行われました。

今回の研修会では、事例に対し積極的に質問をされ、講師からの質問にも自身の意見を

はっきりと返答されていた。普段の業務でも疑問に思っていたケア方法について、参加者同士でも意見交換をされる場面もあり、今後のケアに役立つ研修会となったと思われる。



アンケート結果